

|      |   |
|------|---|
| タイトル | 中学生モンゴル国交流の4年ぶりの実施について                                |
| 担当課  | 企画財政部 協働まちづくり課 担当：久保田（絵）<br>(電話：055-948-1412 内線：2323) |

## 1 概要

伊豆の国市とモンゴル国ウランバートル市ソングノハイルハン区は友好都市に関する覚書を交わしており、コロナ禍前の令和元年度までは毎年、夏にソングノハイルハン区を訪問していました。今年度、4年ぶりにソングノハイルハン区との交流が再開されることが決定し、市長・市議会議長らの公式訪問団と共に、モンゴルへ行く中学生を募集したところ49名もの応募があり、選考の結果、28名の中学生が参加することが決定したため、お知らせします。

2 期間 令和5年8月6日（日）～8月10日（木） 4泊5日（行程は別紙参照）

3 中学生参加者数 計28名

|     | 長岡中学校 |   | 韮山中学校 |    | 大仁中学校 |   | 合計 |
|-----|-------|---|-------|----|-------|---|----|
|     | 男     | 女 | 男     | 女  | 男     | 女 |    |
| 2年生 | 3     | 2 | 4     | 12 | 4     | 0 | 25 |
| 3年生 | 0     | 1 | 1     | 1  | 0     | 0 | 3  |
| 合計  | 3     | 3 | 5     | 13 | 4     | 0 | 28 |

## 4 中学生のコメント（申込書より一部抜粋）

- ・小学生のとき転入してきたモンゴル人の友達の国の文化を体験したいと思った。
- ・学校で、国際交流員のモンゴル文化講座に参加して、モンゴル国に興味をもった。
- ・将来、海外で仕事してみたいので、外国人とコミュニケーションをとってみたい。
- ・モンゴルの生活や風景を一度、自分の目で見てみたいと思った。

## 5 保護者のコメント（申込書より一部抜粋）

- ・知らない世界で、初めての体験をして、グローバルな感性を身につけてほしい。
- ・親元を離れ、仲間と異文化、異国を体験してほしい。
- ・市の一員として参加させていただければ、役割を果たす責任感が身につく。
- ・日本の生活を客観視できることが、今後の成長のプラスになると思った。

6 取材依頼 令和5年8月6日（日）8:15～ 出発式 伊豆の国市役所本庁駐車場  
令和5年8月27日（日）14:00～ 報告会 あやめ会館3階多目的ホール